

# 北九州地区労連ニュース

2018年 6月号 No. 140

発行 北九州地区労働組合総連合  
 連絡先 北九州市小倉北区黄金1-4-9-207号  
 メール k\_roren@ybb.ne.jp 093-921-0747  
 ホームページ http://www.geocities.jp/k\_roren/

## 北九州地区労連第73回評議員会 9月16日(日)第30回定期大会開催を決定

### 役員検討委員会・選挙管理委員会など各種委員会の設置を確認

北九州地区労連は、6月8日(金) 18時30分から戸畑区生涯学習センターで第73回評議員会を開きました。評議員会は、評議員定数56人に対して44人の評議員が参加し、幹事会が提案したすべての議案を満場の拍手で承認・採択しました。

評議員会は、JMU北九州地区国公の池田評議員、北九州地域ユニオンの西原評議員を議長団に選出し、議事が進められました。

地方選で福岡県議会選挙予定候補の高瀬菜穂子県議と大石正信市議が参加し高瀬議員が激励のあいさつを行いました。

永富地区労連議長のあいさつの後、来春たたかわれる一斉

議案の提案は、堀田事務局長が第1号議案活動報告、第3号議案夏季闘争方針案及び当面の取り組みについて、「2018年春闘、第89回北九州統一メーデーの取り組み、安倍改憲NO!3000万人署名の取

みや要求の前進をめざし労働相談活動の強化、平和行進や原水禁大会、「反核マラソンなど平和の取り組み、6月7日に挙げ改憲NO!の署名1350万筆を国会に提出しましたが、嘘と公文書偽造、疑惑まみれの安倍内閣の即時退陣を求めて、さらに多くの方に呼びかけていくと提案しました。

組み、働き方改革法案反対のたたかい、さよなら原発3・11北九州集会、5・3憲法フェスタの取り組みなどに全力を挙げ、ナショナルセンターの枠組みにこだわらない共同闘争に

財政議案として、第3四半期決算報告、2017年度決算見込みと更正予算(案)、2018年度暫定予算(案)を堀田事務局長が提案し質疑討論に入りました。

全力でとりくみ、大きな成果を上げたことを報告。また、これからの闘いについて、「働き方改革法案が極めて重要な段階に入っている。過労死推進の危険な法案であり廃案に向けて

質疑討論では、4団体(健和会労組、学嘱労・地区国公・福建労)4名の評議員が発言し、すべての議案は補強され、満場の拍手で採択・承認されました。9月16日(日)10時から小倉北区西部毎日

全力を!、8時間働けばまともな生活の出来る社会の実現を求め、全国一律最賃制度の確立を目指す取り組み、労働者の悩

大会成功に向けて、役員検討委員会、選挙管理委員会、財政検討委員会などの設置について

も確認されました。

最後に、永富議長の「団結力ンバロー」でしめくられ、平和の取り組み、働き方改革法案の廃案を目指す取り組み、3000万人署名の前進をめざし平和をあきらめないネットの行動の強化、来春たたかわれる北九州市長選挙など一連の選挙闘争に全力でたたかかっていくことを確認することができた評議員会でした。



嘘と疑惑まみれのアベ内閣は即時退陣! 頑張ろう!

### 雨あがり

今月17日、下の子(男)が通っている幼稚園のイベント(父の日)で平尾台に登山に行ってきました。ここ数年ともに運動していない私にとって、まず運動する服装が無いことに気付き慌ててジャージを買ったので、帽子も購入し準備万端。

当日は天気もよく、登山日和。親子で手を握り、1列になって山登りの開始。登山コースには途中ウサギさんコース(緩やかで遠回り)、カメさんコース(急勾配)を選ぶ所があり、息子は前々からウサギコースがいいと言っていました。みんなカメさんコースを登っていたので無理矢理?カメさんコースにしました。

親子で励ましあいながら30分程度でしたが目的地までたどり着きました。その後、ネイチャーゲームという風の音を感じたり、好きな風景を探したり、虫などを採すといったゲームをしました。その後、ちょっと早い昼食(おにぎり)タイム。我が家のおにぎりの具は、息子希望の梅干と、からあげが入っていました。ほかの子は、「ミートボール、牛肉が入ってるよー」など大声で自慢のし合いました。

昼食も終わり、下山の時間。下山途中で息子が「今日は楽しかった。又登りたい。今度は家族で来ようね」と、言っていました。そのことを奥さんに伝えましたが、まったく運動しない奥さんはたして登るでしょうか?登ったときはまた雨上がりで報告します。

(坂)

# 福岡県労連第70回評議員会 「働き方改革法案を廃案に追い込む特別決議」を採択

5月26日(日)13時30分  
から福岡市第3階成ビル4階会  
議室で福岡県労連第70回評議  
員会が開かれ、北九州地区労連と  
して5人(評議員4人、傍聴者1  
人)が参加しました。

評議員会は、江口県労連議長の  
挨拶で始まり、道下事務局長が2  
018年春闘総括、これからの取  
り組みについて提案。第3四半  
期財政報告、2018年度暫定予  
算(案)については小川事務局長  
長が報告・提案しました。  
議案に対する発言は、7人の評  
議員からあり、すべての議案は満  
場一致で採択されました。



第70回福岡県労連兵銀会 開会挨拶は懸谷副議長

特別決議案、「働き方改革法案  
を廃案に追い込む特別決議」満場  
の拍手で採択されました。



人権連台3回定期大会で挨拶をする藤沢市会議員

## 北九州地域人権連 第3回定期大会開会

6月12日北九州市地域人  
権運動協議会第3回定期大会が  
北方市民センターで開かれまし  
た。藤沢市議、高瀬県議、三輪市  
民の会事務局長などから挨拶が  
あり廣田事務局長から経過報告  
活動方針(案)など、会計報告も  
含めて一括して承認されました。  
宮浦会長が退任し、新しい会長  
として、宮浦敬順氏が新しい会長  
として選出されました。

## 第55回北九州母親大会に 670人が参加(6月3日)

第55回北九州母親大会が、今  
こそ！平和が一番をスローガン  
に、精神科の香山リカさんを記念  
公園の講師として招き、若松市民  
会館大ホールと生涯学習センタ  
ーを会場に開かれました。

10時からの分科会は、「平和  
憲法、沖縄」、「安倍内閣の働き方  
改革はバラ色か?」、「小学校から  
英語?」など8つの分科会と無料  
年金相談コーナーが用意されど  
の分科会も会場一杯の参加でし  
た。健和会看護学院の生徒76人  
の参加で、どの分科会も元気の出  
る内容でした。  
13時からの全体会には67  
0人が参加し、熱気あふれる集会  
となりました。



記念講演は精神科医の香山リカさん 大好評でした。



母親行進は、商店街を一回り。

実行委員長の挨拶、福岡県実行  
委員会の藤沢事務局長と北九州  
市民の会三輪事務局長が来賓挨  
拶。13団体が出席した運動交流  
は、北九州でのたまたまいが一堂に  
集まり壮観でした。

運動交流で会場が盛り上がっ  
た後に、記念講演講師の香山リカ  
精神科医が登壇し、「精神科医が  
考える憲法の大切さ」について1  
時間たっぷり話してくれました。  
アンケートは135枚集ま  
り、その中には、「香山さんの力  
強い講演が心に響き、話が聞けて  
良かったです。」(10代女性)、「  
女性の尊厳が否定されかけて  
いる。それを正そうとしている香  
山さんはカッコいい。」(10代女  
性)など書かれ好評でした。  
最後に、近くの商店街を一周す  
る母親行進で、無事終了となりま  
した。

## さよなら原発金曜行動 300回記念の金曜行動

さよなら原発北九州連絡  
会は、6月8日小倉駅前広場  
で300回目の行動を行な  
いました。

小倉駅前広場には100  
人を超える仲間が参加し、  
「原発はいらない」とリレー  
トークをし、替え歌や踊りで  
さよなら原発をアピール、替  
え歌の踊りあり、うたごえで  
盛り上がりました。

原発のない社会が来るま  
で金曜行動を続けていきま  
す。最近に参加が少ないの  
で、多くの方が参加してい  
たくようお願いいたします。



300回目の記念すべき金曜行動で  
リレートークをする参加者



# 「安倍働き方改革法案」の廃案を求めて 6・14北九州地区労連怒りの宣伝行動

怒りー怒りー怒りー怒りの宣伝行動に133団体30人が参加。北九州地区労連は、6月14日(木) 18時15分から小倉駅ペDESTロアンデッキで、「安倍働き方改革法案」の強行を許さず、廃案を求めて宣伝行動を行いました。



「働き方改革法案」は廃案にせよ！  
北九州地区労連怒りの宣伝行動

「働き方改革」一括法案を政権党は強行採決しようとしています。高プロ制度は現代の奴隷制といわれています。北九州地区労連には、残業代も払わず働かせるのですから、労働者にとって重要な法律なら、過労死で家族を亡くした方々が反対するのは当然だ、過労死促進法と言ってもいいすぎではない、誰のために必要な法律か。明らかにしてほしい。などの声が寄せられています。宣伝行動を始めると、永富議長、福岡自治労連公務公共一般の土井委員長、医労連健和会労組の安達書記長、争議団共闘の中村議長、福建労北九州支の新屋敷書記長、北九市職労の永野執行委員、全教北九州の

北九州共闘センターの「働き方改革働かせ改悪」宣伝行動が、6月13日小倉駅デッキで行われました。労働組合(全港湾、全国一般、ユニオン北九州など)、労働弁護士(4法律事務所)、八幡アクション加盟の社民党、それにJMTU福岡地方本部も共同の立場で参加しました。5人の方がマイクで訴え、ピラも配られました。



北九州共闘センターの宣伝行動で  
マイクを握る労働弁護団の服部弁護士

中川書記長などが次々と怒りを込めて、嘘と公文書改ざん、疑惑まみれの安倍政権を糾弾しました。チラシの受け取りもよく用意したチラシはほとんどなくなりました。

## 3000万人署名第1次提出集会を開催 市民と労働者の力で3000万筆を集めきろう

改憲断念まで署名集約を継続

総がかり行動実行委員会は6月7日(木)衆議院第一議員会館で「安倍9条改憲NO!全国統一署名」(3000万人署名)第1次提出集会を開催しました。

提出集会には、立憲民主党、日本共産党、社民党、無所属の会、沖繩の風など9条改憲に反対する野党会派の党首や国会議員が勢揃いし、会場に積み上げられた署名を前に、参加者から1350万筆の署名を署名簿を受け取りました。

全国市民アクション実行委員会の福山真劫共同代表が、「市民と野党が共闘すれば、安倍改憲は阻止できる。」と述べ、「なんとしても3000万人署名を集めきろう。」と呼びかけました。

北九州地区労連の到達は  
6月8日現在 6405筆

北九州地区労連の、6月20日(水)現在の到達は、24組合6,405筆です。目標に対する到達は、42.7%です。目標を達成にむけ、平和をあきらめないネットや憲法共同センターなどの行動に積極的に参加しています。



「3000万人第1次提出集会会場に山積みされた1350万筆の署名



労働法コラム 第53回

# フリーランス契約



黒崎合同法律事務所

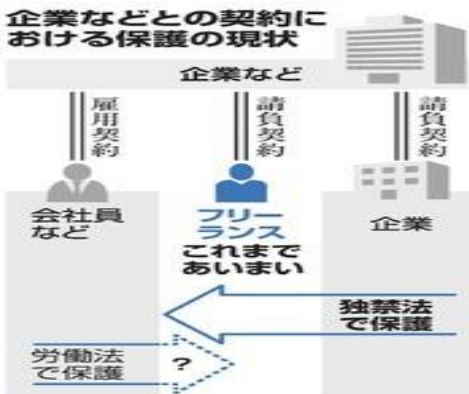
溝口 史子 弁護士

政府が推進する「働き方改革」では、働く人の置かれた個々の事情に応じ、多様な働き方を選択できる社会の実現を目指すといわれています。

こうした流れの中、注目されているのが「フリーランス契約」です。

フリーランス契約とは、働く人が企業に雇用されるのではなく、業務委託契約（請負契約、委任契約）等の名目で一定の業務を引き受ける契約を言います。

フリーランス契約のメリットは、働く時間や場所等の自由ですが、この契約形態には多くのリスクがあることに注意しなければなりません。



まず、フリーランス契約は雇用契約ではないため、働く人は原則として「労働者」に当たらず、労働関係法制に定められた、労働時間や賃金等の規制による保護を受けることができません。このため、実態は雇用契約であるにもかかわらず、企業が働く人との間でフリーランス契約を結び、労働法上の規制を免れようとする事例も散見されています。裁判所は、こうした事例では、働く人と企業の間には「使用従属性」があるか（仕事の依頼や業務従事の指示に対して断る自由があるか、勤務時間・勤務場所が指定されているか、業務内容や遂行の仕方について具体的な指揮命令を受けているか、報酬が成果ではなく労務に対して支払われるか、労務提供に代替性が認められているか等）を



検討し、「使用従属性」が認められれば、契約の名目を問わず、働く人を労働者として扱い、労働法を適用するとの立場をとっています。

また、フリーランス契約では、よほどの特別な技能を持つ人でない限り、働く人は企業側に対して立場が弱く、待遇面での交渉が難しいのが現状です。仕事を安く買いたたかれたり、移籍制限や行き過ぎた秘密保持義務の強要といった苛酷な契約条件を課されたりするケースも少なくありません。こうした実情から、公正取引委員会は、2月、企業側によるフリーランスに対する不利な条件の押しつけは、独占禁止法が禁じる「優越的地位の乱用」に当たり、公正取引委員会の取り締まり対象となるこの運用指針を打ち出しています。

労働法に定められた労働者の権利は、働く人たちがこれまでの闘いの中で勝ち取ってきた権利です。働き方の多様性という言葉の陰で、企業が働く人を苛酷な立場に追い込むことがないよう、注視していきましょ。



安倍暴走政治はとどまることを知りません。カシノ法案の強行採決に続き、過労死促進法とも言われている「働き方改革法案」の強行が画策されている6月19日、小倉駅前南口デッキ周辺で平和をあきらめないネットの毎月宣伝行動が取り组まれました。雨の中60人の労働者、市民が参加しました。チラシを配布しながら「安倍改憲NO! 3000万人署名」を訴えました。

マイクを握っての訴えは、北九州共闘の竹内議長、北九州地区労連の永富議長、日本共産党藤沢議員、平和をあきらめないネット副代表の前田弁護士、小倉地区の会

## 6・19宣伝行動に雨の中60人が参加 平和をあきらめないネット毎月行動



野瀬事務局長、革新懇の平川さんがそれぞれの立場から、「憲法改悪の危険性」「強引な国会運営で悪法をこり押しする安倍内閣の異常さ」「嘘と疑惑だらけの安倍政治は終わりにしよう」などと訴えました。

雨の中60人の労働者、市民が参加しました。チラシを配布しながら「安倍改憲NO! 3000万人署名」「6月7日に第1次分として1350万筆を国会に提出した。引き続きこれを上積みしよう」訴えました。毎月19日に宣伝行動が取り组まれています。日程を調整し参加しましょう。